

活動名	団体名 伴南学区安全対策連絡協議会
伴南学区における地域安全対策活動	地 域 広島県広島市
	代 表 者 会長 守安 宏史
	支援金額 30万円
活動概要	
<p>人の人の交流を原点とし、青少年健全育成の観点から、日常生活における実践・体験重視型の行事を通じて、児童自らが様々な安全対策に必要な知識を身につけることを目的とした活動を実施した。また、外国人との交流を取り入れ、児童たちがお互いの国について相互理解を深め、世界に目を向けるきっかけ作りとなる活動を実施した。</p> <p>◆実施時期 周年 伴南学区内等</p> <p>◆参加人数 参加総人員 1,780名</p>	



水難防止講習



野外活動・田舎体験活動



国際理解学習 シュラブ先生



国際理解学習 JICA

◆実施に伴う効果

子ども110番スタンプラリーはケーブルテレビで放送され、他学区から実施要領等の問い合わせがあった。

水難事故防止講習はNHK及びケーブルテレビで放送され、プロフェッショナルを呼ぶにはどうしたら良いのか問い合わせがあった。結果、他の2校でも同様の講習を実施できた。

広島県防犯フォーラム広島海上での事例発表を伴南学区に対し依頼があり、発表内容について他地域からの問い合わせ、情報交換ができた。

新しい団地につき、転入者等が安全対策活動を通じ住民同士の親睦の場としての役割も果たせた。

◆苦労した点

学区(団地)の急速な発展に伴う人口、児童数増加の状況において、活動の規模を大きくしなければならなかったこと。

安全対策活動は、これだけすれば完璧というものが終わりのない活動であることから、如何にして持続性を持たせるかという点が難しい。

会報「エンゼルランプ通信」を通じて伴南学区の活動を継続して情報発信していきたい。

活動を継続することで、防犯講習会等で事例発表ができる団体としての役割を果たしたい。

◆今後の課題・発展の方向性

日頃の生活の中で自然と活動ができる行事等を工夫しながら実践していきたい。

自分たちの街を安全で安心して生活できるよう、地域の総意として活動ができる体制を築きたい。

将来を担う学区の子どもたちの心に、自分が育った故郷・伴南学区を誇りに思えるような活動を開拓していく。

息の長い活動を心がけること。

◆活動を終えての感想・意見等

財団の支援金により、活動に幅ができ住民、児童相互間の交流ができた。今後は、支援金がなくても学区独自で実のある活動ができるように努力したい。地域活動を活性化させるための活動にはどうしても予算が必要であり、財団支援金により、飛躍の一年となったことに感謝しています。